

東日本大震災への対応(概要報告)と震災の影響を踏まえた今後の対応

I 東日本大震災への対応について(概要報告)

■3月11日(金)午後2時46分、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震発生

(多摩市では、最大震度5弱を観測、多摩市災害対策本部を設置)

1 帰宅困難者対策：3月11日(金)

- ①関一つむぎ館、関戸公民館、永山公民館、パルテノン多摩を臨時避難所として開設
ピーク時の人数は、約1,120名

2 計画停電対策：3月15日(火)～

- ①防災行政無線、広報車、ホームページ、災害情報メールを使い、市民への周知を図り、安全パトロールを実施
- ②計画停電への苦情・問い合わせ件数 522件 (これ以降全体で5,000件超)

3 乳児用飲料水(ペットボトル)の配布：3月24日(木)～25日(金)

- ①対象者(1歳未満)全世帯へ電話連絡(約1,100世帯)
- ②市役所、パルテノン多摩、健康センターで配布(1人1.5L×2本)

4 義援金の募金活動

- ①3月25日(金)～27日(日)：市内4駅で市議、職員ボランティア、日赤奉仕団
- ②4月5日(火)：市内4駅で新入職員ボランティア

5 被災地からの避難者受け入れ

(1)福島原発関係の避難者

- ①開設期間：3月19日(土)～31日(木)
- ②開設場所：永山公民館
- ③受入実績：3月22日(火)～31日(木) 10日間2名※4月1日から都営住宅に入居

(2)被災地からの避難者

- ①開設期間：4月1日(金)～9月30日(金)
- ②開設場所：多摩市立八ヶ岳少年自然の家
- ③受入人数：150名～200名

6 支援物資の受け付け

- ①受付期間：3月25日(金)～4月7日(木)
- ②受付場所：総合体育館・児童館・子育て総合センター
- ③受付物品：紙おむつ、ウェットティッシュ、生理用品、ラップ類、紙コップ、使い捨てカイロ

④受入実績：123,640点(635人、20団体)

※受け入れ等の協力 社会福祉協議会、登録ボランティア(延べ280人)

7 多摩市・多摩市商工会議所の備蓄品の提供

①多摩市：レスキューフーズ、粉ミルク、ラーメン、カロリーメイト、下着、ボールペン、鉛筆、衣装ケース

②多摩市商工会議所：トイレトペーパー

8 支援物資の搬送

①第1回：3月30日(水) ・東京都 ダンボール33箱

②第2回：4月4日(月) ・宮城県石巻市 ダンボール378箱

・福島県新地町 ダンボール149箱

③第3回：4月8日(金) ・福島県新地町 ダンボール486箱

9 災害ボランティア

①多摩市社会福祉協議会が募集

II 震災の影響を踏まえた今後の対応

「震災の影響を踏まえた平成23年度の市政運営について(各部長宛庁内通達)」をし、本市の市政運営については、既に新年度の施政方針を表明し、当初予算の議決を得ているところであるが、震災による影響を考慮する必要があること、また、被災地の復興に向け、市を挙げて協力する姿勢をもって臨むことが必要であることから、施政方針を踏まえつつ、以下の取り組みを進めるものとした。

1 電力不足の影響を考慮し、節電・省エネに関する取り組み

2 市民生活・市内経済に及ぼす影響を考慮した取り組み

3 被災者・被災地支援に関する取り組み

4 今後の事務事業の執行に関する判断

①節電対策や被災地復興需要への配慮、普通建設事業における資機材調達等の困難性、今年度以降の歳入減少予測などを考慮

②各種イベントの開催について

③今後の災害時対応について、今回の震災対策を踏まえ、対応策や行動体制等を評価検証し、必要に応じた見直しを進める

④職員の勤務体制について効率的な運用と協力体制